

### 令和初の聖地「長い夏に」

光星ナイン  
市庁で決意  
戸

第101回全国高校野球選手権大会（8月6日開幕）に出場する八学光星硬式野球部が30日、八戸市庁に小林真市長を訪



八戸市庁本館に設置された応援看板の前で、甲子園への闘志を燃やす八学光星ナインら（30日）

ね、通算10度目の夏の甲子園への決意を語った。市庁には、県大会でベッチ入りした20選手と仲井宗基監督、小野崎龍一校長、大澤一實協賛会長、小坂真志部長の計24人が訪れた。

ナインは1人ずつ甲子園に懸ける思いを明かし、武岡主将は「最後の甲子園を長い夏にできるよう頑張りたい」と語った。小林市長は「令和初となる夏の甲子園で、歴史に名を刻むような活躍をしてほしい」とエールを送った。表敬後、ナインは市庁本館正面入り口上部に「めぐせ全国制覇」と記された縦0・9メートル、横9メートルの応援看板の前で記念撮影に臨み、闘志を燃やしていた。

また、東奥日報八戸支社も訪れ、村林徹支社長にも出場を報告。仲井監督

は「レベルが高かった県大会を勝ち抜いた自信と誇りを持ち、青森県に少しでも明るい話題を届けたい」と抱負を述べた。（大久保拓地）